

全日本バレーボール小学生大会県予選

奥州胆沢クラブが準V

女子

第33回全日本バレーボール小学生大会県大会は22・23日、花巻市総合体育館などで行われ、女子の奥州胆沢バレーボールクラブが、決勝で手代森アップル(盛岡市)にフルセットを逃した。その

他の胆江勢は、金ヶ崎男子が決勝トーナメント1回戦で敗れた。男子は花巻バレーボール

- スポ少が初優勝。
- 【男子】
- 予選リーグ
 - ▽a ①花巻2勝②見前南1勝1敗③常盤小2敗
 - ▽b ①矢巾3勝②二戸市2勝1敗③一本木1勝2敗④江刺3敗
 - ▽f ①雫石2勝②佐倉河1勝1敗③一関2敗
 - 決勝トーナメント
 - ▽1回戦
 - 花巻2-0金ヶ崎
 - 石2-0金ヶ崎
 - ▽準決勝
 - 花巻2-0矢巾
 - 雫石2-0東和
 - ▽決勝
 - 花巻2-0雫石
- 【女子】
- 予選リーグ
 - ▽g ①金ヶ崎2勝②宮古1勝1敗③遠野2敗
 - ▽h ①金ヶ崎2勝②宮古1勝1敗③遠野2敗
 - ▽i ①金ヶ崎2勝②宮古1勝1敗③遠野2敗
 - 決勝トーナメント
 - ▽1回戦
 - 戸1勝2敗④長島3敗
 - ▽c ①大船渡3勝②東和1勝2敗③真城1勝2敗④岩泉・小本1勝2敗
 - ▽準決勝
 - 奥州胆沢2-1大船渡
 - ▽準々決勝
 - 奥州胆沢2-0雫石
 - ▽準決勝
 - 奥州胆沢2-0紫波東
 - 手代森2-1INNC
 - ▽決勝
 - 手代森2-1奥州胆沢



女子準優勝の奥州胆沢バレーボールクラブ



レフトから強力なスパイクを決める奥州胆沢・佐藤美夢(6年)

あと1点が遠く

女子決勝は、ノーシーカード。互いに1セットずつ取り合って迎えた最終セット。奥州胆沢が全

手代森を追い詰めたが、最後の最後で勝負運は手代森に転がった。第1セットは序盤は手

代森が先行するも、奥州胆沢は高橋あおば(5年)の計7本のサーブポイントなどで一気に逆転し、22-20で先取。第2セットは守備からリズムをつかんだ手代森が21-14で取り返した。

奥州胆沢

最終セット(15点)は、奥州胆沢のレフト佐藤美夢(6年)の強力なスパイク、ネット際で粘る高田帆南(5年)らの活躍で得点を重ね、14-13と先に上手。しかし、ここから手代森が松下華恋主将(6年)を軸に堅い守りを展開。14-14の同点に追いつくと連続2点を挙げ、16-14で振り切った。

奥州胆沢の土谷優奈主将(胆沢愛宕小6年)は「詰めが甘かった」と痛恨の表情。1セット目を奪つてからの逆転負けに「全力を出し切れれば勝てた」と内容を悔やんだ。

次の目標は、今秋の県育成大会で優勝し、全国大会に出場すること。「もっと一つ一つのプレーを強化して全国を狙う」と土谷主将。レフト佐藤美夢(水沢小6年)も「サーブカットがまだまだ。技とチームワークを鍛えて勝ちたい」と次に向かって気持ちを切り替えていた。